

金子 熊夫

かねこ・くまお—外交評論家、エネルギー戦略研究会会長、E E E会議代表。元外交官、元東海大学教授。ハーバード法科大学院卒。kaneko@hyper.ocn.ne.jp http://www.eecom.org



難産
だつなん

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light-colored.

時評

2012.7.11

会」に位置づけられるこの委員会は独立性が高く、大きな権限を持つが、問題は、5人の委員長及び委員の人事だ。設置法では「人格が高潔で、原子力安全に関する知識・経験と高い識見を有する者」の中から衆参両議院の同意を得て内閣総理大臣が任命する。委員長は天皇が認証する（第七条）。こうした要件にぴたり該当する人物が実際にいるかどうか。3・11事故後の原子力専門家（と称する人々）の迷走ぶりを見つけるられた国民としては、いさかの

不安を禁じえない。昔には、「この
際外国人の優れた人材を登用すべ
きだ」という意見もあるが、明治時
期ならいざ知らず、つい先づ「手を
で世界有数の原子力先進国を自負
していた国としては、それではい
かにも淋しい。民間企業では、日
本のカルロス・ゴーン社長等の例
もあるが、高位の国家公務員に口
本国籍を持たない人を任命できな

「貴リスク」を排除せよとの自公両
党的主張で独立性の高い「原子力
規制委員会」にしたのは、米国の
同名委員会（NRC）を範とする
との発想が根底にある。

主党的重鎮であるハリー・リード上院議員の政策秘書を務めていた。4年後オバマ政権になってすぐ、リード氏の強力な推しで委員長に抜擢されたが、真っ先に手掛けたのが同氏の選挙区であるネバダ州のヤッカマウンテン核廃棄物地層処分場計画の廃棄であった。かなり強引なやり方で、原子力推進派の恨みを買った。

意を表明。つい先週、後任委員長（女性、地質学者）が上院で承認されたばかりだ。

勿論曰米の政治風土や官僚制度には多々相違があり一概には言えないが、独立性の高いNRC方式には、ついでいう弊害も潜んでいる」とを略記しておるべきだろう。

因みに、米国NRCの権威を高めるきっかけとなつたのは、1977

いし
いすれにせよ、日本
将来を左右する極めて
である。且下政府部内
選が行われているはず
野からの口出しじはなる
べきだとうが、念のた
一画コマンドしておき
当初の政府の設置法
子力規制庁」を環境省

の原子力の重要性人事で慎重な人なので、外へ控えるべく控えるのに敢えていたい。案では、「原一・ヤツコ委員長自身にある。彼の外局とは2005年に委員になるまであるが、筆者によれば、ワシントンの官庁の中で最も人気が高い職場だとか。筆者も以前何度か訪問したことがあるが、その評価は納得できる。ところが、その誇り高いNRCが最近ややイメージダウンしている。原因は、ほかならぬグレゴリーケンでは、「原一・ヤツコ委員長自身にある。彼の外局とは2005年に委員になるまで

シア州のウエーラー原発の新設許可の際も、他の4人の委員（2人民主党系、2人共和党系）が賛成したのに彼一人反対。そのほか、日頃同僚委員との軋轢、傲慢な執務態度、スタッフに対する「いじめ」等など、人格的な欠陥を指摘され、議会による査問を受ける仕儀となつた。こゝへしたことに嫌気がさしてか、5月に任期途中で辞職をしてしまった。この間は、元々の立場から見れば、彼の行動は、決して過失ではない。しかし、彼の立場から見れば、彼の行動は、決して過失ではない。